

浸水被害は5123戸

台風18号あす1週間

府内各地に大きな被害をもたらした台風18号。府によると、全壊・損壊した民家は23戸、床上・床下浸水は5123戸に上り、負傷者も5人出ている。3連休初日の21日、嵐山は観光客でにぎわったが、再開できていない店舗も多い。

■嵐山

嵐山・渡月橋南側の嵐山公園中之島地区にある「渡月亭松風閣」。洛東高校

(山科区)の野球部員17人は21日朝から、練習着姿で泥をかぶった食器を店外へ運び出していた。2年生の窪田仁土君(17)は「よく遊



渡月橋に近い嵐山公園の飲食店では、市内の高校野球部員らが泥をかぶった食器を運ぶ作業などを手伝っていた＝右京区、戸村登撮影

びにくる嵐山が大変なことになり、とてもショックだった。少しでも店の人の役に立ちたい」。

旅館「花筏」は宴会場の畳がぬれ、調理室の冷蔵庫が故障した。延べ150人のボランティアが片付けを手伝ってくれたが、いまだ営業は再開できていない。おかみの中西美咲さん(36)は「励ましの電話やメールが200件以上寄せられた。来月10日までは再開を目指したい」と話す。

朝日新聞 平成25年9月22日(日)朝刊

私たち『野鬪籠墨界』は、硬式野球部・ラグビー部(鬪球)・女子バスケットボール部(籠球)・女子ソフトボール部(墨球)のメンバーで約3年前から活動し、現在では陸上競技部・ランブリング部も加わりました。(各部の野球・鬪球・籠球・墨球の頭文字を取って、『野鬪籠墨会』という名になりましたが、世界に輪を広げたいと思い「会」を世界の「界」にしました。)総勢約80名で、週一回朝7時15分から学校・地域・駅周辺などを10グループに分け、各グループリーダーを中心に清掃活動を行っています。そのほかに、地域の児童館や特別養護老人ホームへ出向いてのふれあい活動を年に数回行っています。昨年は、東日本大震災への募金活動や応援メッセージ作成などの支援活動も行いました。今年は台風被害を受けた嵐山にもボランティア活動に行きました。

このような活動が、各方面からも認められ、昨年に引き続き『ボランティア・スピリット賞 関西ブロックコミュニティ賞』を2年連続で受賞することができました。

私たちの活動が認められたことは、素直に嬉しかったです。たくさんの人たちに支えられていることを感じながら、多くの人との輪を大切に、これからも活動を続けていきたいと思ひます。

